

<対策のポイント>

山村の活性化を図るため、山村の特色ある**地域資源の活用**等を通じた**所得・雇用の増大**を図る取組を支援します。

<事業目標>

中山間地域等において、地域資源を活用した商品開発等による付加価値向上や販路開拓に取り組み、事業目標を達成した地区の創出（300地区[令和12年度まで]）

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 山村活性化対策事業

山村振興法に基づき指定された振興山村において、農林水産物等の消費の拡大や域外への**販売促進、付加価値の向上**等を通じた**地域経済の活性化**を図るため、山村の特色ある地域資源の潜在力を再評価し、それらを地域ぐるみで活用するためのソフト面の取組（組織・体制づくり、人材育成、付加価値向上等）を支援します。

【事業期間：上限3年、交付率：定額（上限1,000万円/年）】

2. 商談会開催等事業

① 商談会開催等支援

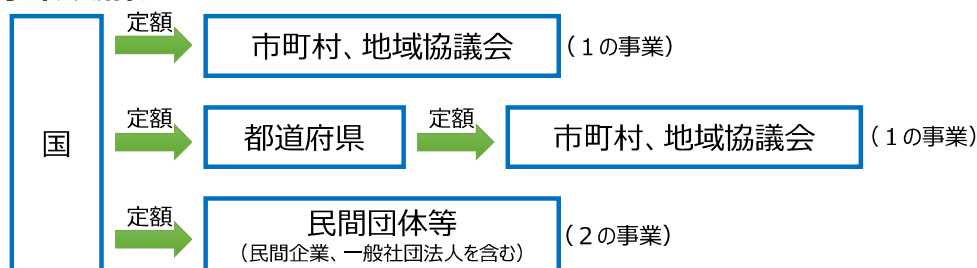
山村の地域資源を活用した商品の**販路開拓**や**山村の価値・魅力の普及**のため、**バイヤー等との商談会や販売会**の開催、**情報発信**などを支援します。

② 山村振興セミナー支援

地域資源を最大限活用した新ビジネスをより効果的に創出するため、商品づくりに必要な**マーケティングのノウハウに係る基礎講習**、ビジネスモデル作成に関する**実践力を養う企画コンペ形式のワークショップの実施**を支援します。

【事業期間：1年、交付率：定額】

<事業の流れ>



1. 山村活性化対策事業

地域資源の賦存状況・利用形態等の調査

資源量調査、文献調査、聞き取り調査
地域資源の管理・保全形態等調査 等



現地調査

地域資源を活用するための
合意形成、組織づくり、人材育成

住民意向調査、地域住民によるワークショップ開催
資源活用の推進体制・組織の整備、実施計画づくり 等



合意形成・計画づくり

地域資源の消費拡大や販売促進、
付加価値向上等を図る取組

地域資源（農林水産物等）を使った**地域産品づくり**※
観光体験プログラム開発、モニターツアー実施
既存の直売所等と連携した販売促進、地域ブランドづくり
商品パッケージ等のデザイン検討、ECサイトの立ち上げ 等
※商品の製造加工を非振興山村地域で行うことも可能



地域産品の加工・商品化

地域資源を活用したビジネス創出の支援

外部専門家によるマーケティングに関する基礎講習

ビジネスモデル作成に関する企画コンペ形式WS

2. ② 山村振興セミナー支援

2. ① 商談会開催等支援

山村地域の参加者とバイヤー等との商談会・販売会の開催・運営、販売力向上セミナー 等



商談会の開催

農林水産業を核とした山村の所得・雇用の増大に向けた取組の推進

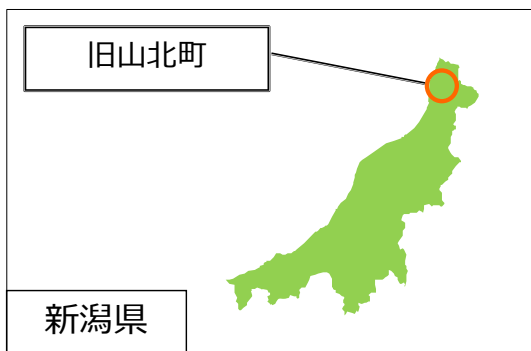
【お問い合わせ先】 農村振興局地域振興課 (03-6744-2498)

取組のポイント

- ◆新潟県村上市山北地区には、雪深い厳しい気候条件と長い歴史の中で地域独自の「生業」として育んできた文化的希少性・固有性のある特産品があり、その魅力を最大限に活かす
- ◆「日本の“生業”を継ぐ」として、特産品（赤かぶ、メープル等）の高付加価値化と販売体制の整備を図る
- ◆新商品の生産過程を体験できるコンテンツを開発し、域外のファンの獲得と収益力の向上に取り組む

地区の概要

- ◆ 位置
新潟県村上市 (旧山北町)



- ◆ 活用した地域資源
赤かぶ、メイプル産品 等
- ◆ 事業実施主体
さんぽく活性化協議会
- ◆ 主な取組団体等
体験交流企業組合、森林組合、農業協同組合、加工製造会社 等
- ◆ 事業実施期間
R3～R5

取組の特色

地域資源の調査や付加価値向上等の取組

- ◆地域ブランド化を図るよう赤かぶ、メープル産品、山ぶどうを活用した商品を開発
- ◆首都圏スーパーとの連携によるマーケティング調査の実施



【赤かぶ漬】

【山ぶどう】
(原液)

【マーケティング調査】
スズキヤ逗子駅前店

地域資源の消費拡大や販売促進等の取組

- ◆総合チラシや新ラベルなど開発した販促ツールを用い、首都圏スーパーにおいて販売促進イベントの実施
- ◆さらなる商品の改良を行い、都内でのテスト販売を実施



【さんぽくフェア開催状況】
スズキヤ逗子駅前店

【テスト販売の状況】
三越 (日本橋店、銀座店)

取組の成果

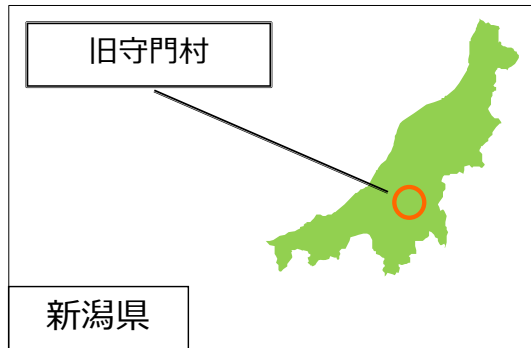
- ◆特産品を活用した新商品の開発3品 山ぶどう酢、赤かぶ漬け燻製、メープルサップ入り入浴剤
- ◆販路開拓や拡大に取組んだ地域産品等の販売額0千円 (R4実績) →2,545千円 (R5実績) ※対前年比 皆増
- ◆本取組に参画する振興山村地域内生産者、加工社の数 0 → 34社 (R5実績)

取組のポイント

- ◆ 旧守門村は魚沼市の北端に位置し地内の84%を森林が占めており、荒れた山林により伝統的に引き継がれてきた技術である炭焼き職人が減少するとともに手漉き和紙職人も近年減少
- ◆ 過去に整備された「森林体験の家」を中心に森林体験学習の場の提供とともに、炭焼き窯を活用した地域活性化を検討
- ◆ 伝統技能の継承のために炭焼き及び紙漉き職人の育成を図るとともに新商品開発により所得増を目指した

地区の概要

- ◆ 位置
新潟県魚沼市(旧守門村)



- ◆ 活用した地域資源
ブナ、ミズナラ、コウゾ等(林産物)
- ◆ 事業実施主体
魚沼市(農林整備課)
- ◆ 主な取組団体等
須原、上条集落
福山新田山暮らし支援会、
福山新田峠の炭里保全会
(商品開発・販路拡大)
- ◆ 事業実施期間
R2~R4

取組の特色

地域資源の調査や付加価値向上等の取組

- ◆ 新商品開発(デザイン検討、試作品製作)のため、ワークショップを開催
- ◆ 持ち帰り可能な和紙の装飾品の制作体験メニュー開発



【デザイン開発した炭箱】



【和紙制作体験会開催】

地域資源の消費拡大や販売促進等の取組

- ◆ 考案したデザイン入り梱包段ボールで魚沼白炭販売
- ◆ 道の駅や首都圏大学のショップで新商品の紹介・販売



【魚沼白炭の販売】



【魚沼和紙包みブナ製名刺入れの販売】

取組の成果

- ◆ 林産物を活用した新商品の開発 12品(魚沼白炭保存箱、梱包段ボール、型押しはがき、魚沼和紙包みブナ製名刺入れ)
- ◆ 新商品の販売商品数 0点(R2実績) → 6点(R4実績)(皆増)
- ◆ 新規雇用者数 1人(R3実績) → 4人(R4実績)(対前比300%)